私は現在臨床工学技士として病院に勤務しております。

主に手術室での人工心肺補助やICUでの急性血液浄化、

呼吸器などの機器管理・点検を行っています。

7の私の財産となっています。

5. 11月のアンド こうほどしたこと、コーチの方々に熱心なご指導をいただいたこと、

誇りをもってこの仕事に取り組んでいきます。これからも新しいことを学びながら、



「学志舎での思い出」

学志舎では私を担当してくださった西野コーチとのマンツーマンの時間や 同期仲間とリレーマラソンに出たことが印象に残っています。

今振り返れば、学志舎とは私にとって、

受験期の真っ只中で、ただ勉強だけをするのではなく、

人としての考え方、あり方、目標に向かって取り組む姿勢など、

深く体感させていただいた、かけがえのない場所で<u>あったと思います。</u>

卒塾生 高鳥 成美 藤田医科大学 医療科学部卒

力を何%出せたのか? 自分で採点する。

点数よりも、大切なものだと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ・coach」とは「馬車」の意。ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

初めて会った高鳥さんの印象は頑張り屋で人懐っこい子、です。

受験という荒波の中で結果が思うように出ないとき、 心が折れてしまいそうになることもあったと思います。

しかし、その中で「自分はどうなりたいのか」という命題に真剣に向きあい

「医療職に就きたい」という答えを再確認し、合格を掴み取りました。 しっかり者の彼女、あの笑顔で今活躍しているのですね。

彼女が一人の社会人として患者さんのために

一生懸命に生きているということがうれしく、

一 主感 叩に主さくいるということがうれして、 利 む色けずに 子奈アー 仕事に 頑 進 ふると思い

私も負けずに子育て、仕事に頑張ろうと思いました。 成美ちゃん、ありがとう。

担当コーチ 西野万美子 愛知県在住 薬剤師











〒500-8085 岐阜市白木町92番地 [お問い合わせ] 平日10:00~21:00

2058-265-4562





毎年集まる卒塾生



塾時代の話で盛り上がります

塾

にジ

目

を

細

めて

行ってらっしゃい!お帰り、そしてお帰り、そしてお帰り、そしておれてありがとう。みんな、思い出をありがとう。

郷 当 0 5 と思 成 長 を ま見 0) す る 地に 事 が 出

の子どもたちです。対しても自慢できる、

表の後の破顔一笑の真剣なまなざしの真剣なまなざしの真剣なまなざしいがあれた顔ののがれた顔のできないだ顔のがあれた顔のであれた顔の思い出がフラッシュバックします。

事務長の独り言

自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

塾長いわく彼らと飲むお酒の味はまた格別だそう今年はコロナで残念ながら中止となりました。毎年正月に卒塾生と新年会を開いています。

学志舍

岐阜市で24年の塾経営経験を活かし、 お子さまのレベル・ステップに合わせたカリキュラムを組み立て、 徹底した自律学習指導を行っています。

「伸びる子伸びない子 | ――塾の現場から――

長年塾をやっていると、伸びる子には二つの特徴があることがわかります。

一つは「素直」であること。もう一つは「感謝」のできる子。今回は「素直」についてお話します。

「素直」=なんでも言うことを聞く、ということではありません。それは「解かろうとする」と「掴もうとする」の違いかもしれません。 新しい情報が入ってきたときに、解かろうとする生徒は、自分の今までの経験によって作られた引き出しに、その情報を当てはめてみます。 該当する引き出しがないと、その情報を受け付けようとしません。掴もうとする生徒は、該当する引き出しがない場合、

新たな引き出しを作って、いったんそこに入れて咀嚼してみます。言い換えれば実行してみるのです。

そして自分に合わなければやめる。しかし引き出しは1個増えますよね。これが素直であるかどうかの違いだと思います。

「雨の日は好きか?」という質問に、多くの生徒が「好きじゃない、晴れの日の方がいい」と言います。

その後「この世界は植物が二酸化炭素を酸素に替えてくれるから動物が生きていける。雨が降るおかげで植物が元気でいられる。 だから雨が好きという考え方はどうだろう?」と問いかけてみます。

掴もうとする生徒なら「なるほど、そんな考え方もあるのだな」とうなづくでしょう。

大人でも同じです。ある提案をなされた時、今までの経験から、解からないもの、きつそうに思えるもの、面倒くさそうなもの、何か自分に不都合なものがあると、実行することもなく、やらなくて済む言い訳を考え始めるのです。そして自己防衛に走ります。伸びる人はどうすればできるのか考える、そして実行してみる。その場合、いやいやするのではなく、最善を尽くしてみる。また同じするのなら、楽しんでやってみる。物事を肯定的にとらえる人、何かを掴もうとする人が、素直な人であると思います。では、「素直」な子に育てるには?「存在承認」のシャワーをいっぱいに浴びせてあげることです。存在承認?わかりやすく言うと、生まれたばっかりの子どもに対する思いですね。元気に生まれてくれてありがとう。あなたがいてくれるだけでお父さんお母さんはうれしい!その気持ちをどうぞお子様の心に届けてあげてください。

学志舍事務長 山田 公子

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」=「学ぶ力」すなわち 「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、

国語力最優先指導

20年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、 国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、 すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。 そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、 その結果で証明してきたのです。

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、 24年の経験の中で間違いありません。

学志舎は18年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、 良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。



小字部

中学・高校の6年間で花開く 「基礎学力」を徹底して作るコース



自律の養成を徹底して行うコース

高校受験のための教科力と

中学部



本格的な大学受験のための 学力形成を徹底して行うコース

2 058-265-4562

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【感染症対策実施中】 https://gakushisha.com/



朝6時オールナイト学習会終了